

京丹後市教育振興計画

施策評価・進捗管理調書(内部評価結果)

担当課	担当課長
学校教育課	上羽 正行
生涯学習課	松本 優
こども未来課	金子 隆行

重点目標	4	豊かな人間性・社会性を育みます
基本の方針	学校園、家庭、地域及び行政の協働により、子どもたちが周囲からの愛情や信頼、期待などに「包み込まれているという感覚」を育むとともに、人や社会との絆、思いやりを大切にする豊かな人間性・社会性を育みます。 また、不登校等の課題がある児童生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導を行います。	

1. 施策の方向性

PLAN

1. 人を思いやり、尊重する社会性の育成	① 保幼小中一貫教育による学校園や校種を超えた交流授業や合同行事など、多様な集団での活動を充実し、子どもたちの自尊感情を高めるとともに、豊かな人間関係や社会性を育みます。 ② 生命を大切にする心や他人を尊重する心などを育むとともに、新たに教科となった道徳科をはじめ、すべての教育活動において、就学前から中学校までの系統性・一貫性のある道徳教育や人権教育を推進します。 ③ 地域の人々との幅広い交流の機会を拡充することで、ルールやマナー、社会常識、社会性を育みます。 ④ 各学園(中学校区)において、学校園、家庭及び地域が子どもたちの生活実態や課題を共有し、規範意識や社会性を高める取組みを協働して進めます。 ⑤ 情報機器の適切な使用やSNSに代表される情報通信ネットワークのルール・モラル等について、児童生徒の実態に応じて具体的に指導するとともに、専門家や保護者、学校支援ボランティア等と連携し、系統のかつ一貫性のある指導体制を整備します。
2. 生徒指導体制、教育相談体制の充実	① 子どもたちが集団生活を通して課題を解決する意欲と実践力を身に付けることができるよう、一人ひとりの生活実態の把握や内面理解の充実を図ります。 ② 学校園の状況に応じてスクールサポーターを配置するなど、子ども一人ひとりの課題やニーズに対応するきめ細かな支援体制を整備します。 ③ 京丹後市いじめ防止等基本方針に基づき、組織体制の整備を行うとともに、関係機関と連携し、いじめの防止、いじめの早期発見及びいじめへの対処のための対策を総合的かつ効果的に推進します。 ④ 不登校等の児童生徒の多様な実態と課題に対応し、学校復帰と社会的自立を支援するため、教育支援センター「麦わら」の相談・支援体制の充実及び機能強化を図ります。
3. 家庭・地域の教育力の向上	① 各学園(中学校区)の学校園、家庭及び地域が、育みたい子ども像や児童生徒の実態及び課題を共有し、緊密に連携して指導を行うしくみづくりを進めます。 ② 家庭は自己肯定感や豊かな心、他者に対する思いやりや命を大切にする気持ちなどを養う最も重要な役割を担う場ととらえ、PTA等と連携しながら、乳幼児期から思春期(中学生)までの子どもの成長段階に応じた家庭教育支援を進めます。 ③ 子どもの豊かな人間性・社会性を育むとともに、孤立しがちな親や子育てに悩みを抱えている親への支援等のため、家庭子ども相談室による相談や関係機関の連携による支援を実施します。また、家庭教育支援チームの活動を進めるとともに、関係団体の活動を支援します。 ④ 子どもたちが身近な地域で体験や交流ができる活動の充実を図る。 ⑤ 子どもたちの放課後の居場所づくりのため、地域ボランティアの協力を得て様々な体験活動、地域住民との交流活動を行うとともに、地域における子どもたちの活動拠点を確保するための事業の拡充を進めます。 ⑥ 保護者の就労状況の多様化や家庭環境の変化に伴い、放課後における児童の健全育成を図るため実施している放課後児童健全育成事業の利用が増加しています。利用ニーズを的確に把握するとともに、サービス体制や施設環境の整備を推進し、待機児童ゼロを継続します。また、青少年の健全育成と安全・安心な地域づくりのため、青少年健全育成会をはじめ、関係団体と連携した効果的な活動を進めます。
4. 芸術文化を通じた豊かな感性、情緒の育成	① 子どもが生涯にわたって自然や歴史、仲間、多様な人々と関わり合う体験活動や、学校支援ボランティア等の専門的な知見や技能を活用するなど、我が国や京丹後市の伝統文化や自然環境、文化・芸術等に親しみ、学ぶ機会を充実します。 ② 学校園や家庭での読書活動により子どもの豊かな情緒を育むため、関係機関・団体等との連携・協力関係をさらに強化し、学校園、家庭及び地域が一体となった取組みを進めるとともに、学校図書館の機能強化を図ります。

【参考】施策に関連するその他の計画

計画名称	計画概要	策定年月	計画期間	備考
第2次京丹後市総合計画	市の目指す基本理念、目標、将来像などを示した「基本構想」と、その構想を実現するための各種施策を総合的、計画的に体系化した「基本計画」	平成27年3月	平成27年度～令和6年度	
京丹後市いじめ防止等基本方針	国、府、学校、地域社会、家庭及びその他の関係者が連携のもと、社会総がかりでいじめの問題の克服に向けて取り組むとともに、いじめ防止対策推進法第12条の規定に基づき、いじめの防止、いじめの早期発見及びいじめへの対処のための対策を総合的かつ効果的に推進するために策定	平成26年6月	計画期間の定めなし	策定から3年経過を目途に見直し(平成30年度見直し)

計画名称	計画概要	策定年月	計画期間	備考
京丹後市学校教育改革構想	中学校卒業時に期待される学力をすべての生徒が確実に身に付けることができるようにしていくため、保育所・幼稚園、小学校、中学校の10年間を見据え、より系統的で一貫性のある教育を実践するための構想を策定	平成24年11月	計画期間の定めなし	
京丹後市文化芸術振興計画	市民が主体となって文化芸術活動に取り組み、楽しみを感じられる文化芸術のまちづくりを総合的かつ計画的に推進するために策定	令和5年3月	令和5年度～令和14年度	

2. 主な取組と構成事務事業一覧		PLAN	DO	※各事業の成果・課題については、別紙決算附属資料参照	CHECK	ACT
1. 人を思いやり、尊重する社会性の育成					決算額(単位:千円)	
主な取り組み					R4決算額	R5決算額
↓ 事務事業名称・事業内容(実績)		担当課			R6予算額	評価を踏まえた今後の方向性
① 保幼小中一貫教育による学校園や校種を超えた交流授業や合同行事など、多様な集団での活動を充実し、子どもたちの自尊感情を高めるとともに、豊かな人間関係や社会性を育みます。					-	-
② 生命を大切に作る心や他人を尊重する心などを育むとともに、新たに教科となった道徳科をはじめ、すべての教育活動において、就学前から中学校までの系統性・一貫性のある道徳教育や人権教育を推進します。					-	-
③ 地域の人々との幅広い交流の機会を拡充することで、ルールやマナー、社会常識、社会性を育みます。					-	-
④ 各学園(中学校区)において、学校園、家庭及び地域が子どもたちの生活実態や課題を共有し、規範意識や社会性を高める取組を協働して進めます。					-	-
⑤ 情報機器の適切な使用やSNSに代表される情報通信ネットワークのルール・モラル等について、児童生徒の実態に応じて具体的に指導するとともに、専門家や保護者、学校支援ボランティア等と連携し、系統적かつ一貫性のある指導体制を整備します。					-	-
1	小学校丹後学等教育活動実践事業《再掲》	学校教育課			-	-
地域の学習を通じて郷土への理解、愛着と誇りを高め、将来の自己の生き方・在り方の探求を進める「丹後学」の充実を図る。また、教育課題の解決に向けた教職員の研究事業に取り組むとともに、修学旅行における引率教員の施設入場料に係る経費を支援する。					-	現状維持
2	中学校丹後学等教育活動実践事業《再掲》	学校教育課			-	-
府の研究指定を受け、教員の指導力向上等に取り組むとともに、地域学習を通じて郷土への理解、愛着と誇りを高め、将来の自己の生き方・在り方の探求を進める「丹後学」の充実を図る。また、教育課題の解決に向けた教職員の研究事業に取り組むとともに、修学旅行における引率教員の経費を支援する。					-	現状維持
2. 生徒指導体制、教育相談体制の充実					決算額(単位:千円)	
主な取り組み					R4決算額	R5決算額
↓ 事務事業名称・事業内容(実績)		担当課			R6予算額	評価を踏まえた今後の方向性
① 子どもたちが集団生活を通して課題を解決する意欲と実践力を身に付けることができるよう、一人ひとりの生活実態の把握や、内面理解の充実を図ります。					-	-
② 学校園の状況に応じてスクールサポーターを配置するなど、子ども一人ひとりの課題やニーズに対応するきめ細かな支援体制を整備します。					-	-
③ 京丹後市いじめ防止等基本方針に基づき、組織体制の整備を行うとともに、関係機関と連携し、いじめの防止、いじめの早期発見及びいじめへの対処のための対策を総合的かつ効果的に推進します。					-	-
④ 不登校等の児童生徒の多様な実態と課題に対応し、学校復帰と社会的自立を支援するため、教育支援センター「麦わら」の相談・支援体制の充実及び機能強化を図ります。					-	-
3	いじめ防止啓発推進事業	学校教育課			1,739	1,761
「京丹後市いじめ防止等基本方針」に基づき、市が一体となっていじめの防止等の対策を総合的かつ効果的に推進する、いじめ防止対策等専門委員会及びいじめ問題対策連絡会議を設置するほか、いじめ・不登校の防止等の取組において早期発見・解決に向けSNS相談窓口を設置し、児童生徒が相談しやすい環境づくりを推進する。					-	統合(整理)
4	いじめ防止対策等運営事業	学校教育課			252	237
「京丹後市いじめ防止等基本方針」に基づき、市が一体となっていじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進するため、いじめ防止対策等専門委員会及びいじめ問題対策連絡会議を設置する。					-	統合(整理)
5	いじめ・不登校防止対策等総合推進事業	学校教育課			-	-
「京丹後市いじめ防止等基本方針」に基づきいじめ防止等の啓発活動を実施し、市と市民が一体となっていじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進する。					-	1,194
6	指導主事設置事業	学校教育課			12,642	13,159
学校教育及び就学前教育の充実を図るため、指導主事4人を配置し、専門的事項に関する指示・指導を行う。					-	15,242
7	就学支援・教育相談事業	学校教育課			783	852
児童生徒の問題行動、心身の悩みや不登校等に対応するため、臨床心理士による教育相談を実施するとともに、児童生徒を指導、支援する教職員に対し、各種研修を行う。また、児童生徒の特性に応じた教育支援を適切に行うため、発達検査を実施し、児童生徒の特性の理解や支援の手がかりとする。					-	445
8	教育支援センター管理運営事業	学校教育課			10,564	13,146
心理的要因等による不登校又はその傾向にある児童生徒に対し、所属校や保護者との信頼関係のもと、集団生活への適応、情緒の安定、基礎学力の補充及び基本的な生活習慣の改善など、個々の状況に応じて段階的に支援することにより、将来の社会的自立を目指す。					-	15,225
9	小学校スクールサポーター等設置事業《再掲》	学校教育課			-	-
児童一人ひとりの課題・特性を的確に把握し、よりきめ細かな指導に努め、円滑な授業を実施するため、スクールサポーター(介護職員)を配置するとともに、教育活動の推進と学校経営の安定を図るため、教員資格のあるスクールサポーター(講師)を配置する。					-	現状維持

2. 生徒指導体制、教育相談体制の充実		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		R4決算額	R5決算額	R6予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
10	中学校スクールサポーター等設置事業《再掲》 生徒一人ひとりの課題・特性を的確に把握し、よりきめ細かな指導に努め、円滑な授業を実施するとともに保幼小中一貫教育の推進を図るため、スクールサポーターを配置する。また、生徒のための心の相談員や部活動指導員、適正配置による通学バス等の事務の増加に対応するための事務職員をスクールサポーターとして配置する。	学校教育課	-	-	-	現状維持
3. 家庭・地域の教育力の向上		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		R4決算額	R5決算額	R6予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
<p>① 各学園(中学校区)の学校園、家庭及び地域が、育みたい子ども像や児童生徒の実態及び課題を共有し、緊密に連携して指導を行うしくみづくりを進めます。</p> <p>② 家庭は自己肯定感や豊かな心、他者に対する思いやりや命を大切にすることを養う最も重要な役割を担う場ととらえ、PTA等と連携しながら、乳幼児期から思春期(中学生)までの子どもの成長段階に応じた家庭教育支援を進めます。</p> <p>③ 子どもの豊かな人間性・社会性を育むとともに、孤立しがちな親や子育てに悩みを抱えている親への支援等のため、家庭子ども相談室による相談や関係機関の連携による支援を実施します。また、家庭教育支援チームの活動を進めるとともに、関係団体の活動を支援します。</p> <p>④ 子どもたちが身近な地域で体験や交流ができる活動の充実を図る。</p> <p>⑤ 子どもたちの放課後の居場所づくりのため、地域ボランティアの協力を得て様々な体験活動、地域住民との交流活動を行うとともに、地域における子どもたちの活動拠点を確保するための事業の拡充を進めます。</p> <p>⑥ 保護者の就労状況の多様化や家庭環境の変化に伴い、放課後における児童の健全育成を図るため実施している放課後児童健全育成事業の利用が増加しています。利用ニーズを的確に把握するとともに、サービス体制や施設環境の整備を推進し、待機児童ゼロを継続します。また、青少年の健全育成と安全・安心な地域づくりのため、青少年健全育成会をはじめ、関係団体と連携した効果的な活動を進めます。</p>						
11	子ども家庭相談室事業 家庭児童の適正な養育及び福祉の向上を図る。また、ヤングケアラー支援事業を推進する。	子育て支援課	366	2,172	7,784	拡大
12	家庭教育事業 全ての教育の出発点である家庭教育を推進するため、子どもの発達段階に即した学習及び交流機会の充実に努めるとともに、PTA活動を支援する。	生涯学習課	1,584	1,407	1,642	現状維持
13	放課後児童健全育成事業 保護者の就労や疾病その他の理由により、学校の放課後、長期休業期及び土・日曜日等に適切な保育が受けられないと認められる家庭の小学校の児童に対し、適切な遊びや生活の場を与えることにより、児童の健全な育成と子育て支援の推進を図る。	子ども未来課	245,621	266,042	317,692	現状維持
14	放課後児童健全育成事業【繰越】 口大野放課後児童クラブの利用児童の増加に伴い、トイレの利便性の向上を図るため、トイレの増設等を行う。また、国の補助金を活用し、放課後児童クラブの送迎用バスに安全装置を設置する。	子ども未来課	-	5,245	-	
15	放課後子ども教室事業 児童が放課後を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう、小学校の余裕教室を利用した放課後子ども教室を開設する。	子ども未来課	658	778	828	現状維持
4. 芸術文化を通じた豊かな感性、情緒の育成		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		R4決算額	R5決算額	R6予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
<p>① 子どもが生涯にわたって自然や歴史、仲間、多様な人々と関わり合う体験活動や、学校支援ボランティア等の専門的な知見や技能を活用するなど、我が国や京丹後市の伝統文化や自然環境、文化・芸術等に親しみ、学ぶ機会を充実します。</p> <p>② 学校園や家庭での読書活動により子どもの豊かな情緒を育むため、関係機関・団体等との連携・協力関係をさらに強化し、学校園、家庭及び地域が一体となった取り組みを進めるとともに、学校図書館の機能強化を図ります。</p>						
16	文化芸術事業 「文化芸術振興計画(令和4年12月策定)」に基づき、市民の豊かな心を育み、生きがいのある生活を送ることができるよう、地域の生活文化を育て、ゆとりと潤いのある地域づくりを推進するため、各種文化芸術活動を支援する。	生涯学習課	33,906	35,334	36,948	現状維持
上記の「主な取り組み」への位置付けが困難な事業		決算額(単位:千円)			事務の改善	
事務事業名称・事業内容(実績)		担当課	R4決算額	R5決算額	R6予算額	評価を踏まえた今後の方向性
17	子ども未来まちづくり審議会事業《再掲》 「第2期京丹後市子ども・子育て支援事業計画」の進捗管理、評価並びに「第3期京丹後市子ども・子育て支援事業計画」の策定に向けた子育て支援に関する調査、研究を行う。	子ども未来課	-	-	-	現状維持
計			308,115	340,133	397,000	

3. 教育振興計画で掲げている主な目標指標

基本的方針	学校園、家庭、地域及び行政の協働により、子どもたちが周囲からの愛情や信頼、期待などに「包み込まれているという感覚」を育むとともに、人や社会との絆、思いやりを大切にすることを豊かな人間性・社会性を育みます。 また、不登校等の課題がある児童生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導を行います。							
主な目標指標	目標指標	単位	計画作成時		実績値(現状)		目標値	
			年度		年度			
	不登校児童の出現率<小学校>	—	5人/0.16%	H25	28人/1.19%	R5	減少させる	R6
	不登校生徒の出現率<中学校>	—	47人/2.49%	H25	69人/5.68%	R5	減少させる	R6

目標指標	単位	計画作成時		実績値(現状)		目標値	
		年度	年度	年度	年度		
いじめの認知件数/認知率<小学校>	—	386件/12.7%	H25	317件 13.4%	R5	減少させる	R6
いじめの認知件数/認知率<中学校>	—	189件/10.2%	H25	20件 1.6%	R5	減少させる	R6
認知されたいじめの年度内解消率<小学校>	—	357件/92.5%	H25	84.2%	R5	100%	R6
認知されたいじめの年度内解消率<中学校>	—	181件/95.8%	H25	75.0%	R5	100%	R6
いじめはいけないことだという意識がある児童の割合<小学生>	%	97.0 「全国学力・学習 状況調査」児童 生徒質問用紙 小6	H25	97.3	R5	増加させる	R6
いじめはいけないことだという意識がある生徒の割合<中学校>	%	90.9 「全国学力・学習 状況調査」児童 生徒質問用紙 中3	H25	93.7	R5	増加させる	R6
学校のきまりや規則を守る意識がある児童の割合<小学生>	%	93.8 「全国学力・学習 状況調査」児童 生徒質問用紙 小6	H25	実施なし	R5	増加させる	R6
学校のきまりや規則を守る意識がある生徒の割合<中学校>	%	90.8 「全国学力・学習 状況調査」児童 生徒質問用紙 中3	H25	実施なし	R5	増加させる	R6
人の気持ちが分かる人間になりたいと思う児童の割合<小学生>	%	94.4 「全国学力・学習 状況調査」児童 生徒質問用紙 小6	H25	実施なし	R5	増加させる	R6
人の気持ちが分かる人間になりたいと思う生徒の割合<中学生>	%	95.2 「全国学力・学習 状況調査」児童 生徒質問用紙 中3	H25	実施なし	R5	増加させる	R6
人の役に立つ人間になりたいと思う児童の割合<小学生>	%	94.0 「全国学力・学習 状況調査」児童 生徒質問用紙 小6	H25	96.4	R5	増加させる	R6
人の役に立つ人間になりたいと思う生徒の割合<中学生>	%	93.2 「全国学力・学習 状況調査」児童 生徒質問用紙 中3	H25	95.7	R5	増加させる	R6
自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合<小学生>	%	—	—	79.5	R5	増加させる	R6
自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合<中学生>	%	—	—	78.8	R5	増加させる	R6
住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合<小学生>	%	—	—	81.4	R5	維持する	R6
住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合<中学生>	%	—	—	69.6	R5	維持する	R6
放課後児童クラブ待機児童数ゼロの継続	人	—	—	0	R5	0	R6

4. 施策の進捗状況の評価と今後の課題[基本的方針の達成に向け、施策がどの程度進捗しているか]

CHECK **ACT**

進捗状況区分	評価	令和5年度成果と今後の課題
◎ 予定以上に進んでいる	○	<p>《不登校児童生徒の出現率》 不登校児童生徒の出現率は、全国的に増加している。本市においても令和4年度減少したが、小学校6年生の新規不登校もあり、急激に増加した。中学校は、令和3年度まで減少傾向であったが、急増した小学校の不登校児童が入学したということもあり、令和5年度は0.78%の増加となった。別室指導等の物的な居場所づくりやSC、SSWをはじめとした教職員とのつながり、すなわち心理的な居場所づくりの成果であるとも考えられる。また、保幼小中一貫教育の推進による各校園での未然防止を重点とした取組みや確実な情報の共有等によって、不登校解消に一定の成果は上がっている。しかし、解消より新規の出現が多いことから不登校の出現率が増加傾向にある。今後も未然防止の取組推進が更に必要である。</p>
○ 予定どおり進んでいる		
▲ 少し遅れている		
× 大幅に遅れている		

		令和5年度成果と今後の課題
		<p>《いじめの認知件数/認知率》 令和5年度は、いじめの認知件数・認知率とも小中学校で令和4年度と比較して少し減少した。令和2年度は、コロナ禍の中で通常の学校生活とは異なる環境下での調査であったことが原因として予測できる。引き続き、些細な兆候も見逃さない組織的な対応を行うとともに、認知件数・認知率のみにとらわれず、より丁寧な指導を継続していく必要がある。</p> <p>《認知されたいじめの年度内解消率》 令和5年度いじめ調査の認知事象に基づく追跡調査結果において、解消率は小学校が84.2%、中学校が75.0%と高い値となった。未解消事象については、今後も、各校のいじめ防止基本方針に基づき、実態把握や情報共有、組織的な対応を徹底し丁寧な指導を行うとともに、関係機関と連携した体制強化を図っていく。</p> <p>《いじめはいけないことだという意識がある児童生徒の割合》 いじめはいけないことだという意識がある児童生徒の割合は、年間3回のいじめ調査や追跡調査、児童生徒への丁寧な指導により、小学校で少し減少しているが、中学校で増加した。小中学校ともに高い水準を維持しているが、今後も児童生徒の豊かな心を育成するため、道徳科をはじめ、学校の教育活動全体を通じた取組の充実を図る必要がある。</p> <p>《学校のきまりや規則を守る意識がある児童生徒の割合》 実施なし。</p> <p>《人の気持ちが分かる人間になりたいと思う児童生徒の割合》 実施なし。</p> <p>《人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合》 人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合は、小中学校ともに増加した。近年、高い水準で推移している。教育活動全体を通じた丁寧な指導により、社会貢献等への意識が確実に身に付いてきている。今後更に高めていくため、ボランティア活動など体験学習等の充実を図る必要がある。</p> <p>《自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合》 自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合は、小中学校ともに増加している。日々の関わりの中で、児童生徒のよさを見つけ、ほめていることが児童生徒に伝わるようにほめるなど、意図的な働きかけにより、自尊感情や自己肯定感の基盤を育みたい。改定された生徒指導提要の趣旨にそった発達指示的な生徒指導を生かした授業づくりと学級経営、教育活動をさらに推進していく必要がある。</p> <p>《住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合》 住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合は、小学校は増加、中学校は減少した。さらに、近年、減少の傾向がある。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、地域における行事が中止となっていることが要因だと考えられるが、「丹後学」を通して、地域への理解と愛着を深めていく必要がある。</p> <p>《放課後児童クラブ待機児童数ゼロの継続》 社会環境の変化に伴い放課後、家庭で適切な保育が受けられない家庭が増加していることもあり利用者が増加傾向にある。既存の施設や学校の空き教室を活用しているため、十分な保育室の確保ができないところもあるが、支援員の確保と併せ、受け入れ態勢の整備に努めていきたい。</p>

5. 今後の施策展開の考え方(令和6年度での主な取組)

ACT

区分	No.	具体的内容
施策展開の考え方	1	子どもたちの自尊感情を高め、豊かな人間性・社会性を育むため、保幼小中一貫教育による交流学习や児童会・生徒会活動などの集団活動を充実させるとともに、道徳科をはじめキャリア教育等学校の教育活動全体を通じた系統的で一貫性のある指導の更なる充実を図る。
	2	いじめや不登校など、児童生徒の多様な課題に対応するため、臨床心理士による教育相談体制を拡充するとともに、教育支援センターの相談支援機能(アウトリーチも含)を更に高めるとともに、多様な学びに対応できるよう、個の課題やニーズに応じたきめ細かな相談支援体制の整備・強化を図る。
	3	地域の子ども教室では、体験活動だけでなく、教室間での情報交流についても支援しながら教室活動の維持、拡充に努める。青少年健全育成会では、各地域ごとに子どもの体験活動を実施するほか、あいさつ運動や夏休みパトロールなどで地域の子どもの見守り活動を継続する。また平成28年度からスタートした「放課後子ども教室」事業は、安定的運営を目指す。
	4	子どもたちの芸術や自然を愛する心豊かな感性を育むため、教育活動等における文化体験や芸術鑑賞など、国や府の様々な事業や学校支援ボランティア等を活用し、伝統文化や芸術等に親しむ機会を充実させるとともに、学校図書充足率向上を図る。

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																
	項	01 教育総務費	1,761千円	1,774千円	13千円	99.2%																		
	目	02 事務局費				(参考)当初予算額	課	学校教育課																
	事業	16 いじめ防止啓発推進事業				1,746千円																		
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源																					
目的	「京丹後市いじめ防止等基本方針」に基づき、市が一体となっていじめの防止等の対策を総合的かつ効果的に推進する、いじめ防止対策等専門委員会及びいじめ問題対策連絡会議を設置するほか、いじめ・不登校の防止等の取組において早期発見・解決に向けSNS相談窓口を設置し、児童生徒が相談しやすい環境づくりを推進する。																							
主要な事務・事業の概要	○いじめ防止講演会（講師謝金） 参加者：51人 97千円 開催日：令和5年11月22日（水） 対象：市民、教職員、PTA 講師：株式会社マモル 代表取締役社長 隈 有子 氏 会場：アグリセンター大宮		○京丹後市こどもSNS（LINE）相談窓口を設置 1,584千円 ・システム保守委託料 660千円 ・システム使用料 924千円 開設時間：平日16時～21時 相談対象：市内に居住する小中学生 相談体制：教育委員会事務局指導主事、臨床心理士による相談受付 【SNS相談実績（令和6年3月末現在）】																					
	○いじめ防止啓発費用（消耗品費） 44千円 いじめ防止啓発に係る懸垂幕の更新（1枚）		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談件数</td> <td>20件</td> <td>29件</td> <td>19件</td> </tr> <tr> <td>いじめに係る相談</td> <td>2件</td> <td>0件</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>LINE友達登録数</td> <td>60人</td> <td>89人</td> <td>117人</td> </tr> </tbody> </table>							R3年度	R4年度	R5年度	相談件数	20件	29件	19件	いじめに係る相談	2件	0件	2件	LINE友達登録数	60人	89人	117人
		R3年度	R4年度	R5年度																				
	相談件数	20件	29件	19件																				
いじめに係る相談	2件	0件	2件																					
LINE友達登録数	60人	89人	117人																					
○いじめ防止専用電話設置（通信運搬費） 36千円 フリーダイヤル利用料、いじめ相談専用携帯電話利用料 開設期間：365日 24時間対応 相談体制：教育委員会事務局指導主事、臨床心理士による相談受付 ※いじめ相談件数：0件																								
○いじめ防止街頭啓発 京丹後市こどもSNS相談やフリーダイヤルが掲載されているポケットティッシュを配布 実施日：令和5年11月8日（水） 場所：ショッピングセンターマイン 6人で実施		成果・課題 ○いじめ防止講演会及び街頭啓発キャンペーンを通じて、いじめの問題等について、広く周知できた。 ○SNS窓口を通年設置することで、いじめをはじめ、それ以外の幅広い内容についての相談を受けることができた。 ○SNS相談窓口の周知を積極的に行うなど、引き続き、相談しやすい環境づくりに努める必要がある。																						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	237千円	267千円	30千円	88.7%		
	目	02 事務局費				(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事業	17 いじめ防止対策等運営事業				403千円		
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源					
目的	「京丹後市いじめ防止等基本方針」に基づき、市が一体となっていじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進するため、いじめ防止対策等専門委員会及びいじめ問題対策連絡会議を設置する。							
主要な事務・事業の概要	○いじめ防止対策等専門委員会経費（委員数：5人） 220千円 いじめの防止等のための対策に関する事項や重大ないじめ事象が発生した場合に調査を行うため、弁護士、医師、臨床心理士、学識経験者からなる「いじめ防止対策等専門委員会」を設置し、会議を開催するなど、それぞれの専門的な立場からいじめ事象に対する指導・助言を担当の指導主事を含む事務局が受け、その内容をとりまとめ各小中学校へ周知した。 開催日：第1回 令和5年9月30日（土） 第2回 令和6年2月20日（火） 第3回 令和6年3月26日（火） 会場：京丹後市役所大宮庁舎 ・報酬 182千円 ・旅費（職員旅費・費用弁償） 38千円		○いじめ問題対策連絡会議経費（委員数：21人） 17千円 保育所、こども園及び小中学校におけるいじめの防止対策や早期発見、いじめへの対処等に関する協議を行うため、「いじめ問題対策連絡会議」を設置し、教育、福祉、医療、保健、警察及び司法等の関係機関との連携を図った。 開催日：令和5年5月23日（火） 会場：京丹後市役所峰山庁舎 ・報償費（委員謝金） 支払対象4人 16千円 ・旅費（費用弁償） 1千円					
			成果・課題 ○専門的な立場から指導・助言を受けることにより、学校に対していじめ防止等のための取組やいじめ事象の解決に向けた支援を行うことができた。 ○いじめは、どの子ども、どの学校でも起こり得ることを踏まえ、いじめの未然防止及び早期発見に向けた取組を推進する必要がある。 ○いじめの解決に向けた組織連携や見立ての在り方について、事例研修を行う中で各小中学校の対応力をさらに高める必要がある。					

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局															
	項	01 教育総務費	13,159千円	13,274千円	115千円	99.1%																	
	目	02 事務局費				(参考)当初予算額	課	学校教育課															
	事業	03 指導主事設置事業				12,868千円																	
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実					主な財源																	
目的	学校教育及び就学前教育の充実を図るため、指導主事4人を配置し、専門的事項に関する指示・指導を行う。																						
主要な事務・事業の概要	4人の地域担当の指導主事を各地域公民館に配置し、学校経営や教育内容について、その専門性と見識や経験を活かした指導、助言を行い、学校現場における課題解消に向けて対応した。		【指導主事配置状況】																				
	【指導主事 4人】		<table border="1"> <thead> <tr> <th>配置先</th> <th>配置人数</th> <th>所管町域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山地域公民館</td> <td>1人</td> <td>峰山町</td> </tr> <tr> <td>大宮地域公民館・久美浜地域公民館</td> <td>1人</td> <td>大宮町、久美浜町</td> </tr> <tr> <td>網野地域公民館</td> <td>1人</td> <td>網野町</td> </tr> <tr> <td>丹後地域公民館・弥栄地域公民館</td> <td>1人</td> <td>丹後町、弥栄町</td> </tr> </tbody> </table>						配置先	配置人数	所管町域	峰山地域公民館	1人	峰山町	大宮地域公民館・久美浜地域公民館	1人	大宮町、久美浜町	網野地域公民館	1人	網野町	丹後地域公民館・弥栄地域公民館	1人	丹後町、弥栄町
	配置先	配置人数	所管町域																				
	峰山地域公民館	1人	峰山町																				
大宮地域公民館・久美浜地域公民館	1人	大宮町、久美浜町																					
網野地域公民館	1人	網野町																					
丹後地域公民館・弥栄地域公民館	1人	丹後町、弥栄町																					
○会計年度任用職員任用経費	12,924千円	成果・課題	学校経営、教育内容に対する専門知識や豊かな経験を基にした指導や助言を行うことにより、不登校を含めた生徒指導上の諸問題への対応など、複雑多様化する教育現場の諸課題の克服に資することができた。																				
・報酬	9,057千円																						
・期末手当	1,631千円																						
・共済費（社会保険料、雇用保険料等）	1,839千円																						
・費用弁償	397千円																						
○市内業務移動に係る費用弁償	230千円																						
○消耗品費	5千円																						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	852千円	865千円	13千円	98.4%		
	目	02 事務局費				(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事業	08 就学支援・教育相談事業				865千円		
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実					主な財源		
目的	児童生徒の問題行動、心身の悩みや不登校等に対応するため、臨床心理士による教育相談を実施するとともに、児童生徒を指導、支援する教職員に対し、各種研修を行う。 また、児童生徒の特性に応じた教育支援を適切に行うため、発達検査を実施し、児童生徒の特性の理解や支援の手がかりとする。							
主要な事務・事業の概要	各小中学校において臨床心理士による児童生徒や保護者との教育相談を実施し、当該児童生徒の通う学校の教職員へのアドバイスを行った。また、児童生徒の不登校などの学校不適応の未然防止や解消に向けての対応の在り方について、各小中学校の教育相談担当者や心の教室相談員などを対象に研修を実施した。		○教育支援に係る発達検査の実施					
	○教育相談事業		852千円					
	・相談場所	大宮庁舎及び各小中学校	・消耗品費					
	・教育相談の実施者	臨床心理士（教育委員会事務局学校教育課所属）	201千円					
・実施回数	毎月2回（大宮庁舎）及び適宜（各小中学校）	知能検査記録用紙（WISC-IV、日本版KABC-II）ほか						
・相談件数	延べ199件	651千円						
・備品購入費	WISC-V検査コンプリートセット（4台）							
○研修事業								
・教育相談担当者研修	教職員23人 年3回	○臨床心理士による発達検査の実施、教育相談、教職員研修を実施することにより、適切な支援へとつながり、児童生徒の学校適応が推進された。○小中学校ともに不登校出現率が大きく増加（R4年度比：小学校1.8倍、中学校1.2倍）したため、実態の分析を進めるとともに、居場所確保に向けた必要な支援や連携を推進する必要がある。○コロナ感染症が一定落ち着き、子どもたちの交流が活発になる中、コミュニケーションスキルを高めるための教育プログラムの実施や、相談窓口の周知徹底などの対応を確実に進めていく。						
・事例研修	教育支援部会などにて適宜実施（各小中学校）							

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局												
	項	01 教育総務費	13,146千円	13,335千円	189千円	98.5%														
	目	02 事務局費				(参考)当初予算額	課	学校教育課												
	事業	09 教育支援センター管理運営事業				15,017千円														
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実	府補				不登校児童生徒に対する支援推進事業費補助金(1/3)	371千円													
目的	心理的要因等による不登校又はその傾向にある児童生徒に対し、所属校や保護者との信頼関係のもと、集団生活への適応、情緒の安定、基礎学力の補充及び基本的な生活習慣の改善など、個々の状況に応じて段階的に支援することにより、将来の社会的自立を目指す。	主な財源	府補	子どもの教育のための総合交付金(1/2)	613千円															
			繰入金	ふるさと応援基金繰入金	8,000千円															
主要な事務・事業の概要	不登校やその傾向にある児童生徒について、個々の状況をふまえ、多様な学びの機会をとおして、社会的自立の基盤となる自己肯定感や自己有用感が育める居場所として教育支援センター「麦わら」を設置		<教育支援センター運営体制・実績> ・配置人数 6人 教育支援センター支援員(会計年度任用職員) ・配置体制 1日当たり3~4人(各支援員 週3日 1日7時間) ・通所児童生徒数 17人(小学生9人、中学生8人) ・相談延べ件数 890件 ・来所延べ人数 1,537人 ・延べ訪問回数 52回																	
	○会計年度任用職員任用経費(6人分)	11,897千円	<table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>R元</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> <tr> <td>通所利用登録者</td> <td>17人</td> <td>21人</td> <td>15人</td> <td>13人</td> <td>17人</td> </tr> </table> 教育支援センター(峰山町杉谷)の開設は、平成25年1月31日。 ○教員経験の豊富な指導員による児童生徒等への学習及び生活の支援や、スクールカウンセラー、まなび・生活アドバイザーのカウンセリングなどにより、個々のケースに応じた支援を行い、学校復帰や進路実現等の社会的自立を図ることができた。 ○市内の中学校の不登校児童が増加していることから、府配置のスクールカウンセラー、まなび・生活アドバイザー等とも連携し、支援センターの中核機能を果たす上で個々の状況をアセスメントするとともにアウトリーチ型の訪問等を各校へ行うなど、支援を確実かつ的確に行う必要がある。						年度	R元	R2	R3	R4	R5	通所利用登録者	17人	21人	15人	13人	17人
	年度	R元							R2	R3	R4	R5								
	通所利用登録者	17人							21人	15人	13人	17人								
	・報酬	8,431千円																		
	・期末手当	1,535千円																		
	・共済費(社会保険料、労災保険料、雇用保険料)	1,560千円																		
	・費用弁償	371千円																		
	○消耗品費	112千円																		
	○食糧費	1千円																		
○管理経費(燃料費、修繕費)	99千円																			
○役務費(通信運搬費 ほか)	111千円																			
○使用料及び賃借料(コピー機借上料)	163千円																			
○工事請負費(空調機設置費)	742千円																			
○備品購入費(図書)	21千円																			

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	こども部																													
	項	02 児童福祉費	2,172千円	2,372千円	200千円	91.5%																															
	目	01 児童福祉総務費				(参考)当初予算額	課	子育て支援課																													
	事業	02 家庭こども相談室事業				3,702千円																															
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進	国補				ヤングケアラー支援体制強化事業費補助金(2/3)	1,326千円																														
目的	要保護児童対策地域協議会構成機関等と連携の下、児童虐待の未然防止に努めるとともに、虐待児童等を早期に発見し、適切な支援を行う。 ヤングケアラーを早期に発見し、適切な支援につなげる。	主な財源	国補	児童虐待防止対策支援事業補助金(1/2)	72千円																																
			成果・課題	○ヤングケアラー実態調査(児童生徒) 調査対象者 : 市内小学6年生から中学校3年生までの全児童生徒1,593人 調査期間 : 令和5年7月3日~7月20日 調査結果概要 : 回答者1,486人(回答率93.3%) ヤングケアラーと思われる児童生徒数59人(4.0%) ※他に、教職員調査及び学校調査を小中学校に実施。 ○ヤングケアラー啓発カードの配布、街頭啓発(1回) 【京丹後市児童相談等取扱件数】																																	
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員任用経費(報酬、共済費等) ヤングケアラー支援のためのコーディネーター(1人) 任用期間: 令和5年7月~令和6年3月		1,918千円	<table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>詳細</th> <th>件数</th> <th>種別</th> <th>詳細</th> <th>件数</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">養護</td> <td>児童虐待</td> <td>327</td> <td rowspan="2">育成</td> <td>性格行動</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>85</td> <td>不登校</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>障害</td> <td>発達障害</td> <td>0</td> <td></td> <td>適性・育児等</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>その他</td> <td>25</td> <td></td> <td>計</td> <td>457</td> </tr> </table>						種別	詳細	件数	種別	詳細	件数	養護	児童虐待	327	育成	性格行動	1	その他	85	不登校	15	障害	発達障害	0		適性・育児等	4	その他	その他	25		計	457
	種別	詳細	件数	種別	詳細	件数																															
	養護	児童虐待	327	育成	性格行動	1																															
		その他	85		不登校	15																															
	障害	発達障害	0		適性・育児等	4																															
	その他	その他	25		計	457																															
	○報償費: 講師謝金 ・ヤングケアラー講演会 実施日 : 令和5年8月23日 場所 : ZOOMによるオンライン開催 内容 : 「家庭に困難を抱える児童・生徒への対応(ヤングケアラー)」 参加人数 : 小中学校教職員等 189人		50千円	○ヤングケアラー研修会 実施日 : 令和5年11月25日 場所 : アグリセンター大宮 内容 : 「ヤングケアラー・愛着障害を抱える子どもへの対応」 参加人数 : 保育所こども園職員等 110人																																	
	○研修旅費 ・児童虐待防止対策強化研修: 1名参加		21千円	○ヤングケアラー・コーディネーターの配置や、ヤングケアラーの実態調査及び講演会を通して、市内小中学校と情報共有や連携し、対応について協議することができた。 ○児童虐待防止対策強化研修を受講し、専門的知識を向上させ、さまざまな課題のある家庭への対応や支援に生かすことができた。 ○令和6年4月に「こども家庭センター」を設置したことにより、各関係機関との連携をさらに深め、相談支援体制の強化を図る必要がある。																																	
	○役務費: 児童相談緊急対応用携帯電話通話料(3台分)		130千円																																		
	○事務経費: 事務用品、児童虐待防止月間啓発物品等		43千円																																		
○負担金: 京都府家庭相談員連絡協議会負担金		10千円																																			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局												
	項	04 社会教育費							1,407千円	1,410千円	3千円	99.7%								
	目	02 社会教育推進費											(参考)当初予算額							
	事業	04 家庭教育事業												1,721千円						
課	生涯学習課																			
基本計画	27 多様な学びを支援する社会教育の充実	主な財源	府補 家庭教育支援基盤形成事業補助金(2/3) 712千円																	
目的	全ての教育の出発点である家庭教育を推進するため、子どもの発達段階に即した学習及び交流機会の充実に努めるとともに、PTA活動を支援する。																			
主要な事務・事業の概要	乳児期から就学前、思春期の各発達段階に応じた学習機会の提供と家庭教育支援チームによる子育て支援活動を実施したほか、PTA活動の支援を行った。			○家庭教育支援チーム事業 344千円 子育て交流会等ファシリテーター謝金																
	■家庭教育支援チーム事業 子育て経験者や専門的な知識・経験を持つサポーターで構成する「家庭教育支援チーム」を各地域公民館が事務局として運営のサポートをし、地域課題に即した子育て支援活動が実施出来るよう生涯学習課で起案し実施。			○子育て講座等の実施 731千円 ※乳幼児講座3回、子育て(学童・思春期)講座5回、親子体操教室20回 ・子育て講座等講師謝金 160千円 ・親子体操教室講師謝金 120千円 ・消耗品費等事務費 451千円																
	<table border="1"> <tr><th>事業</th><th>回数</th><th>延べ参加者数</th></tr> <tr><td>子育て交流会</td><td>15回</td><td>352人</td></tr> <tr><td>「手紙で結ぶ家族の絆」事業</td><td>12回</td><td>340人</td></tr> <tr><td>子育て広場</td><td>8回</td><td>305人</td></tr> <tr><td>高校生と赤ちゃんのふれあい交流</td><td>4回</td><td>68人</td></tr> <tr><td>合計</td><td>39回</td><td>1,065人</td></tr> </table>	事業	回数	延べ参加者数	子育て交流会	15回	352人	「手紙で結ぶ家族の絆」事業	12回	340人	子育て広場	8回	305人	高校生と赤ちゃんのふれあい交流	4回	68人	合計	39回	1,065人	○京丹後市PTA協議会補助金 332千円 市研究大会の開催、各種研修会への参加、安全会掛金等への助成
	事業	回数	延べ参加者数																	
子育て交流会	15回	352人																		
「手紙で結ぶ家族の絆」事業	12回	340人																		
子育て広場	8回	305人																		
高校生と赤ちゃんのふれあい交流	4回	68人																		
合計	39回	1,065人																		
※広報紙発行：1回 ■子育て講座(講師謝金等)	<table border="1"> <tr><th>事業</th><th>回数</th><th>延べ参加者数</th></tr> <tr><td>乳幼児期子育て講座</td><td>3回</td><td>115人</td></tr> <tr><td>就学前、思春期子育て講座</td><td>5回</td><td>407人</td></tr> <tr><td>親子リフレッシュ体操教室</td><td>20回</td><td>282人</td></tr> <tr><td>合計</td><td>28回</td><td>804人</td></tr> </table>	事業	回数	延べ参加者数	乳幼児期子育て講座	3回	115人	就学前、思春期子育て講座	5回	407人	親子リフレッシュ体操教室	20回	282人	合計	28回	804人	成果・課題 ○子どもの発達段階に応じた子育てに関する学習機会を提供し、子どもとのコミュニケーションの大切さや、生活習慣を身に付けさせるための家庭の役割の重要性などについて啓発することができた。 ○課題を関係機関と情報共有し、より効果的な学習会等の実施を進める必要がある。			
事業	回数	延べ参加者数																		
乳幼児期子育て講座	3回	115人																		
就学前、思春期子育て講座	5回	407人																		
親子リフレッシュ体操教室	20回	282人																		
合計	28回	804人																		

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	こども部																																																	
	項	02 児童福祉費							266,042千円	266,832千円	790千円	99.7%																																													
	目	02 子育て支援費											(参考)当初予算額																																												
	事業	02 放課後児童健全育成事業												276,229千円																																											
課	こども未来課																																																								
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進	主な財源	使用料 公有財産使用料、放課後児童健全育成事業利用料 34,077千円 国補 子ども・子育て支援交付金(1/3) 21,027千円 府補 きょうと地域連携交付金(放課後児童クラブ)休日開所事業) 700千円 府補 子ども・子育て支援交付金(1/3) 19,862千円 繰入金 ひるさと応援基金繰入金 120,000千円 諸収入 市有自動車損害共済金 79千円																																																						
目的	保護者の就労や疾病その他の理由により、学校の放課後、長期休業期及び土・日曜日等に適切な保育が受けられないと認められる家庭の小学校の児童に対し、適切な遊びや生活の場を与えることにより、児童の健全な育成と子育て支援の推進を図る。																																																								
主要な事務・事業の概要	○クラブ運営経費 249,121千円 ・放課後児童クラブ運営業務委託料(11クラブ) 246,473千円 ・光熱水費(大宮、口大野、弥栄) 1,991千円 ・通信運搬費 657千円			・3月末登録児童数：23人 日曜日、祝日開設日利用児童数：延べ71人																																																					
	○施設維持管理経費 4,665千円 ・網戸設置(口大野) 88千円 ・トイレ手洗い器水漏れ修繕(峰山) 47千円 ・委託料(消防用設備保守点検、浄化槽維持管理等) 225千円 ・エアコン設置・更新工事(いさなこ、口大野、海部) 1,036千円 ・その他維持管理経費(火災保険料、手数料、備品購入等) 3,269千円			<table border="1"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>名称</th> <th>開催場所</th> <th>人(平均)</th> <th>地域</th> <th>名称</th> <th>開催場所</th> <th>人(平均)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">峰山</td> <td>峰山①</td> <td rowspan="2">旧丹波小学校</td> <td>52</td> <td rowspan="2">網野</td> <td>網野南</td> <td>網野南小学校内</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>峰山②</td> <td>33</td> <td>網野北</td> <td>網野北小学校内</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>長岡</td> <td>長岡小学校内</td> <td>23</td> <td>丹後</td> <td>丹後</td> <td>丹後地域公民館内</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">大宮</td> <td>いさなこ</td> <td>いさなこ小学校内</td> <td>63</td> <td>弥栄</td> <td>弥栄</td> <td>旧溝谷保育所</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>大宮</td> <td>大宮北保育所内</td> <td>63</td> <td rowspan="2">久美浜</td> <td>久美浜</td> <td>久美浜小学校内</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>口大野①</td> <td rowspan="2">旧口大野保育所</td> <td>52</td> <td>海部</td> <td>旧海部小学校</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>口大野②</td> <td>58</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	地域	名称	開催場所	人(平均)	地域	名称	開催場所	人(平均)	峰山	峰山①	旧丹波小学校	52	網野	網野南	網野南小学校内	47	峰山②	33	網野北	網野北小学校内	34	長岡	長岡小学校内	23	丹後	丹後	丹後地域公民館内	18	大宮	いさなこ	いさなこ小学校内	63	弥栄	弥栄	旧溝谷保育所	33	大宮	大宮北保育所内	63	久美浜	久美浜	久美浜小学校内	38	口大野①	旧口大野保育所	52	海部	旧海部小学校	37	口大野②	58		
	地域	名称	開催場所	人(平均)	地域	名称	開催場所	人(平均)																																																	
	峰山	峰山①	旧丹波小学校	52	網野	網野南	網野南小学校内	47																																																	
峰山②		33		網野北		網野北小学校内	34																																																		
長岡		長岡小学校内	23	丹後	丹後	丹後地域公民館内	18																																																		
大宮	いさなこ	いさなこ小学校内	63	弥栄	弥栄	旧溝谷保育所	33																																																		
	大宮	大宮北保育所内	63	久美浜	久美浜	久美浜小学校内	38																																																		
	口大野①	旧口大野保育所	52		海部	旧海部小学校	37																																																		
口大野②	58																																																								
○児童送迎車両管理経費 12,256千円 ・運転業務委託料(12台) 10,059千円 ・燃料費、車両修繕、保険料等 2,197千円	・開設日 月曜日～土曜日(休日、年末年始、盆時期は閉所) ※峰山放課後児童クラブのみ、日曜日・祝日も開設 ・開設時間 授業終了時～午後6時30分 長期休業期及び土・日曜日等は、午前7時30分～午後6時30分																																																								
■児童クラブ開設状況 ・年間開設日数：314日(うち峰山のみ日曜日・祝日開設：28日) ・年間平均利用登録児童数：551人(11か所、13支援単位)	成果・課題 ○利用者数が増加傾向にある中、待機児童ゼロを継続し児童の健全な育成を図るとともに、保護者の子育てと就労の両立を支援することができた。 ○利用者の増加に対応できるよう、学校の空き教室の活用などによる施設の確保を考えていく必要がある。																																																								

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	こども部																
	項	02 児童福祉費	5,245千円	6,765千円	1,520千円	77.5%																		
	目	02 子育て支援費				(参考)繰越予算額	課	こども未来課																
	事業	02 放課後児童健全育成事業(繰越)				6,765千円																		
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進					国補	保育対策総合支援事業費補助金(10/10)		864千円															
			市債	放課後児童健全育成施設整備事業債(合併特別債)		4,100千円																		
目的	<p>□大野放課後児童クラブの利用児童の増加に伴い、トイレの利便性の向上を図るため、トイレの増設等を行う。</p> <p>また、国の補助金を活用し、放課後児童クラブの送迎用バスに安全装置を設置する。</p>		主な財源																					
主要な事務・事業の概要	<p>○大野放課後児童クラブトイレ増設等工事 4,381千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・し尿汲取手数料 3千円 ・工事監理委託料 440千円 ・仮設トイレ借上料(洋式便器2棟、小便器1棟) 77千円 ・工事請負費 3,861千円 <p>【工事内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男子用：洋式便器1基、小便器2基を増設 ・女子用：和式便器1基を洋式便器に改修 <p>※工事完了日：令和5年9月29日</p>			<p>○児童送迎用バスへの安全装置設置経費 864千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・備品購入費(置き去り防止ブザー等装置一式) 13台分 <p>【送迎バス運行施設及び台数】</p> <table border="1"> <tr> <td>峰山放課後児童クラブ</td> <td>3台</td> <td>丹後放課後児童クラブ</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>□大野放課後児童クラブ</td> <td>3台</td> <td>弥栄放課後児童クラブ</td> <td>2台</td> </tr> <tr> <td>網野南放課後児童クラブ</td> <td>1台</td> <td>海部放課後児童クラブ</td> <td>2台</td> </tr> <tr> <td>網野北放課後児童クラブ</td> <td>1台</td> <td>計</td> <td>13台</td> </tr> </table>		峰山放課後児童クラブ	3台	丹後放課後児童クラブ	1台	□大野放課後児童クラブ	3台	弥栄放課後児童クラブ	2台	網野南放課後児童クラブ	1台	海部放課後児童クラブ	2台	網野北放課後児童クラブ	1台	計	13台			
	峰山放課後児童クラブ	3台	丹後放課後児童クラブ	1台																				
	□大野放課後児童クラブ	3台	弥栄放課後児童クラブ	2台																				
網野南放課後児童クラブ	1台	海部放課後児童クラブ	2台																					
網野北放課後児童クラブ	1台	計	13台																					
成果・課題	<p>○大野放課後児童クラブのトイレの増設等を行ったことにより、トイレ利用の混雑解消につながるなど、利便性の向上につながった。</p> <p>○放課後児童クラブの送迎用バスの全車両に安全装置を設置したことにより、利用児童の置き去り防止対策を実施することができた。</p>																							

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	こども部
	項	04 社会教育費	778千円	865千円	87千円	89.9%		
	目	02 社会教育推進費				(参考)当初予算額	課	こども未来課
	事業	07 放課後子ども教室事業				865千円		
基本計画	27 多様な学びを支援する社会教育の充実					府補	京のまなび教室推進事業補助金(2/3)	
目的	<p>児童が放課後を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう、小学校の余裕教室を利用した放課後子ども教室を開設する。</p>		主な財源					
主要な事務・事業の概要	<p>○放課後子ども教室運営委託料(市内2か所) 757千円</p> <p>(委託料の内訳：謝金相当分、指導員傷害賠償保険料、消耗品費)</p> <p>※事業の概要</p>			<p>○備品購入費 21千円</p> <p>網野北小学校区放課後子ども教室 扇風機2台</p>				
成果・課題	<p>○子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)として放課後子ども教室を開設し、地域住民の協力を得て子どもたちに世代間交流の機会を提供するとともに、さまざまな体験活動を実施することができた。</p> <p>○子ども教室の運営は、地域住民の協力を得て実施することになっており、継続して実施していくためには、スタッフの確保が課題である。</p>							

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	35,334千円	35,532千円	198千円	99.4 %		
	目	02 社会教育推進費				(参考)当初予算額		
	事業	05 文化芸術事業				37,020千円		
基本計画	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進						課	生涯学習課
目的	「文化芸術振興計画（令和4年12月策定）」に基づき、市民の豊かな心を育み、生きがいのある生活を送ることができるよう、地域の生活文化を育て、ゆとりと潤いのある地域づくりを推進するため、各種文化芸術活動を支援する。		主な財源	国補	デジタル田園都市国家構想交付金	1,483千円		
	府補	きょうと地域連携交付金（文化芸術事業）		2,300千円				
				繰入金	韓哲・まちづくり夢基金繰入金	1,473千円		
主要な事務・事業の概要	○文化芸術振興審議会		61千円	○「落語体験塾」及び「京丹後落語三人会」企画運営業務		1,158千円		
	・委員報酬（対象：15人中13人 回数：1回）		40千円	落語体験塾（大宮中・網野中）、落語三人会（R5.11.10、アグリセンター大宮）				
	・委員報酬アドバイザー謝金（1人）		16千円	○京丹後文化のまちづくり推進事業補助金		50千円		
	・委員費用弁償		5千円	閉校になった学校の校歌保存事業（旧吉原小・旧五箇小・旧橋中など）の実施を支援した。				
	○京丹後市文化芸術のまちづくり推進会議		104千円	○丹後文化芸術祭実行委員会補助金		1,300千円		
	・委員報酬（対象：15人 回数：2回）		69千円	舞台6事業、展示2事業、セミナー1事業の実施を支援。				
	・委員報酬アドバイザー謝金（1人）		30千円	○京都府丹後文化事業団運営補助金		27,000千円		
	・委員費用弁償		5千円	人件費、施設管理費等、運営経費に対する補助金				
	○おとまち響プロジェクト（ピアノ調律料、建物共済保険料等）		114千円	○京丹後市文化協会運営補助金		3,500千円		
	○京丹後アートフェスティバル2023		1,747千円	加盟団体112団体（人件費等、運営経費に対する補助金）				
市民が多様な文化芸術に触れ、そこでの学びや体験を通して、創作や表現することの楽しみを体得できる機会を提供した。			○丹後で福祉とアートをつなぐ実行委員会補助金		300千円			
・謝金、印刷製本費、イベント管理運営委託料ほか		1,747千円	TANGOまるっぽ美術館（R5.11～12月、丹後庁舎他、大宮・弥栄町域）					
・会期：R5.9.23～R6.2.25								
・内容		連携団体17団体、連携イベント53事業の内容をマップ掲載		成果・課題	○優れた文化芸術を鑑賞・体験できる機会の提供及び地域文化活動の普及・振興を推進し、文化芸術活動の充実を図ることができた。			
みるプログラム	たんごのたんず、どうなっとるだあ	5回・延16名	いさなご工房他		○京丹後市文化芸術振興計画を適正かつ効果的に推進し、文化芸術によるまちづくりを進めるため京丹後市文化芸術のまちづくり推進会議が発足した。			
知るプログラム	京丹後ルネサンス	5回・延49名	丹後文化会館他		○（公財）京都府丹後文化事業団及び京丹後市文化協会等、各団体の自立運営に向けた支援をしていく必要がある。			
10月～2月		5回・延30名	大宮ふれあい工房他					
シンポジウム	R6.2.25、アグリセンター大宮、参加72名							